

指定管理者の指定手続きなどは

質問Ⅱ管理者の選定・管理費用に問題あり
答弁Ⅱ条例により選定している



森 みきお 議員

公募によらない指定管理者選定は、条例により本町が出資している法人又は公共団体もしくは公共的団体「出資団体等」を指定管理者の候補者として選定することができるとなっているが、農業公社・社会福祉協議会・観光協会以外にどのような団体があるのか。

久松副町長

農業協同組合・有限会社むささびの里・社会福祉法人ごぼく静和会がある。

森議員

理解に苦しむが、条例で

の出資団体と農業協同組合・有限会社・法人との関連はどのようにとらえればいいのか。

久松副町長

規定に基づいた団体と考えている。

質問Ⅱ管理費用は 答弁Ⅱ施設により検討

森議員

条例による町が支払うべき管理費用について出資している団体（農業公社・社会福祉協議会・観光協会）以外は基本的には支出していないが、現在出資団体以外に支出している指定管理施設はあるのか。

久松副町長

現在、指定管理料を支払っている施設は吾北山村開発センター、グリーン・

パークほどの、道の駅「633美の里」物産館、吾北育苗研修センター、いの町生活支援ハウス（朝霧荘）の5施設になる。

森議員

道の駅「633美の里」・道の駅「木の香」のトイレ棟・駐車場などは高知県の施設であり、その管理を県支出金・管理委託料として、町は指定管理者にそのまま充当し支払いしているが、道の駅「633美の里」は、なぜ県の施設を町が指定管理者に選定するのか。また、町の出資団体等でない団体に指定管理料として支払いしている。まったく同様の道の駅「木の香」は指定管理料でなく、施設管理事業として別事業として契約を結んでいるがその違いは。

久松副町長

道の駅「633美の里」のトイレ棟・駐車場広場・花壇などは設置管理条例で規定されているので、県から町に入り町から指定管理料として支払いされている。

道の駅「木の香」の場合は、条例で規定されていないので指定管理料としての支払いはしていない。

木の根ふれあいの森 質問Ⅱ管理費用別問題 答弁Ⅱ地域性もある

森議員

現在、直営事業として運営している「木の根ふれあいの森」をNPO法人「K2」が、指定管理者の指定を申請しているが、指定管理者で運営していた時期は黒字で経営されていた。収支計画書によれば年間180万円もの指定管理料が含まれている。これまで指定管理料は町の出資団体以外には支出していないのが現状である。この施設に支出することとなると今後、他の施設に対しての線引きが難しくなる。「若者の力を借り、地域を守り育てる」大切なことであるが、管理費用の支出とは別問題では。

久松副町長

直営時の実績から、施設管理費が賄えないものと考え公募時に経費に関する事項として提示し公募した。

「地元住民・県民及び観光客などを対象に地域の資源を活用した観光事業や地域課題の解決を行うことにより、地域力の維持、発展に寄与することを目的」としており、その目的に必要な経費と見込まれる。

森議員

指定管理者の選定方法や管理費用について決まりが定かでない。今一度、指定管理者制度（運用など）を生かした民間のノウハウ・活力を引き出さなければならぬ。特に管理費用については線引きが難しくなるのでは。

久松副町長

管理費用については、施設によって地域性なども含め判断していくが、見直しも必要に応じて検討していく。